

ハーモニー

No.
76

令和3年7月15日

白鷹町大字鮎貝3994番地7 TEL 85-2342 / FAX 85-2341



風になびく「七夕飾り」
短冊に願いを込めて



四季の郷駅で楽しむ会（新野吉彦会長）の呼びかけで、7月2日から8日まで七夕飾りが四季の郷駅に飾られました。今年も残念ながらイベントの開催はできませんでしたが、企業や団体からご協力いただき、13本もの工夫を凝らした色とりどりの七夕飾りが梅雨空の下立ち並び、訪れた人の目を楽しませていました。

短冊には、「コロナがおさまったらみんなでキャンプに行けますように」「バスケットがじょうずになりますように」などの願い事が書かれていました。

専門部会の具体的事業計画 の内容をお知らせ致します

くらし部会

◆ごみの減量化と環境保全に関する事業

- ①段ボールコンポストによる生ごみリサイクル活動の普及
 - ・6月から19名が実践されています。
 - ・11月に報告会を開催する予定です。
- ②EMボカシづくりによる生ごみリサイクル活動の普及
 - ・7月1日に町美しい郷づくり推進会議のご支援をいただき開催しました。
- ③ごみの不法投棄防止と犬のフン始末看板の設置による啓蒙活動
 - ・4月に地区内30カ所以上に設置しました。11月に一部撤収予定です。

◆防災に関する事業

- ・避難所を円滑に運営するための計画書の素案策定を部会で取り組めます。
- ・自然災害に備えるための研修会等を開催します。

◆その他、くらし全般に関する事業

まなび部会

◆電子機器の使い方講座等の開催事業

- ・パソコンやスマートフォンなどの基礎的な使い方を学ぶ講座を数回に分けて開催します。

◆地区内の歴史や史跡等を学ぶ事業

- ・白山森の三十三観音に立てられているご詠歌看板の修復に取り組みます。
- ・鮎貝地区内にある史跡や名所を巡るウォークラリー等を開催するなど、鮎貝の歴史を学ぶ機会を設定します。

◆その他、まなび全般に関する事業

まちおこし部会

◆地区内外への様々な情報を発信できるようにするための検討事業

- ・ドローンを活用して地区の魅力等を撮影編集するための取り組みや、そのために必要な講習会等を実施します。
- ・他の部会と連携し、発信する情報等の内容について検討を行います。
- ・ご当地ソングと映像による地区の魅力を発信できるようにしていきます。

◆『あゆかい秋の味覚まつり』の開催事業

- ・これまで行ってきたコミセンまつりの内容を継承しながらも、名称を変更し、出店内容の充実を図り、地区のまつりとなるように検討を進めておりますが、新型コロナウイルスの影響もあり今年度の開催は未定です。

- ・ご当地ソングのお披露目も兼ねて行えるよう進めます。

◆ご当地ソングの制作事業

- ・鮎貝ならではの方言や名所などが入った歌詞など、鮎貝が元気になる歌詞を募集し、誰でも気軽に歌って踊れるご当地ソングの制作を目指します。

- ・鮎貝にゆかりのある方なら誰でも応募できます。

- ・詳細は別紙折込みをご覧ください。

◆白山森周辺を活用したまちおこし事業

- ・全国でも珍しい夫婦観音や西国三十三観音がある白山森の周辺に、絶滅危惧種にもなっている半夏生やカキツバタを植栽・保存し、観光の目玉となるように取り組めます。

◆その他、まちおこし全般に関する事業

気軽に楽しめる心の癒しに

ミニ盆栽を作りました

最近人気の「ミニ盆栽」の作り方を学ぼうと6月29日に花ショップポピーの齋藤憲昭氏を講師にミニ盆栽教室を開催しました。

最初に榆櫟^{（にれけやき）}、もみじ、小藤、ピラカンサスなど10種類以上の苗木と、色や形の違う陶器から自分の好みの物を選び、陶器の底にネットを固定し準備しました。次に苗木の土を軽く落とし植え付け、山苔を自由に配置し溶岩石を飾り空けたスペースに白砂を入れて完成させました。

一つとして同じものがなく、それぞれ趣があつて、とても素敵なミニ盆栽に仕上がりに、皆さん満足されたようでした。早速、自宅でも作ってみたいと話しておられました。



また、空き瓶などに苔を使つて作るテラリウムも紹介していただき、また違った雰囲気です。涼しげな作品にも興味を持たれたようでした。

避難所の運営について研修

くらし部会員で話し合い



2回目のくらし部会（五十公野良一部会長）が6月30日に開催され、ハーモニープラザが避難所として開設された場合の運営方法などについて研修しました。

はじめに、町の防災管財係の小形係長から「白鷹町避難所運営基本方針」についての説明をお聞きしました。

その後、出席した部会員19名が3班に分かれて、運営に必要な役割やそれを担う組織などについて話し合いました。

今月下旬にも部会員による話し合いが行われる予定です。

ポケットパーク深山の除草作業 老人クラブがボランティアで協力

深山の老人クラブ深厚会（守谷 勇会長）では6月27日、会員10名が区内2箇所のポケットパーク深山（花公園）の除草作業に汗を流しました。

常日頃お世話になっている地元への奉仕活動として毎年行っているそうです。



EMボカシづくり 希望者12名が参加



くらし部会主催によるEMボカシづくり教室が7月1日、箕和田のJA選果場で開催され町美しい郷づくり推進会議の加藤仁美さんの指導を受けてボカシづくりを行いました。

この活動は、生ごみの減量化と有機質肥料づくりに繋げようとしているもので、少しずつ活動の輪が広がっているようです。

長らく本校のシンボルとして皆様に愛されてきたグラウンドの大すべり台ですが、撤去することになりましたことをお知らせします。

この大すべり台については、昨年度行われた専門業者による遊具点検で、老朽化による危険が指摘されていました。各所錆(さび)により強度が不足していること、腐食により足場に穴が開いていること、土台の築山がコンクリート製のため、万が一すべり台から転落した場合には大けがが予想されること等が理由です。このことにより、点検直後の昨年十月から使用を禁止し、修繕等の方法を模索してまいりましたが、この度撤去する運びとなりました。

非常に残念ではありますが、近隣の県で起こった、施設の老朽化による死亡事故等を考えますと、児童の安全を守るためには、やむを得ない措置であると考えております。なお、撤去作業は、現在の所、八月の夏休み期間中を予定しております。

七夕かざりについて

例年この時期、「四季の郷駅で楽しむ会」様より、大きな笹竹を御提供いただき、七夕飾りを楽しむ機会をいただいています。先日、一・二年生が、短冊にねがいを書きました。

「みんながながいきてきますように」「ころながなくなりますように」「たくさんぶうるでおよげますように」「みんながえがおになりますように」「つよくなりたいたです」「かっこいいおとこになれますように」……願いは様々です。

願いが叶うよう精一杯支援していきます。(笑)



駐在所からのお知らせ

～海、山、川での事故防止～

- 子どもの遊泳には保護者が同行し、監視を怠らない!
- 危険が多い遊泳禁止場所では絶対に泳がせない!
- 病気、睡眠不足などの体調不良時や飲酒しての遊泳は絶対にしない!
- 遊泳前の準備運動は、しっかり行おう!
- 海での離岸流、急な川の増水には十分気を付けよう!
- フェンスや蓋のない用水路や貯水池等、危険な場所を把握し、みんなで注意しよう!
- 幼児が水辺で遊んでいるときは、絶対に目を離さない
- 熱中症にならないよう体調に注意し、飲料水や帽子など十分な準備をしよう!

白鷹西駐在所 後藤巡查部長
☎ 85-2029



お詫びと訂正

先月号でご紹介した「ふれあい交流スクール(シニア学級)の推進委員」名簿で、佐藤 昭雄さん(黒鴨)と記載致しましたが、正しくは齋藤 和雄さん(黒鴨)でしたので、お詫びして訂正させていただきます。すみませんでした。

これからの主な行事予定

- 7/24(土) 視距妨害樹木伐採
- 28(水) 社会体育振興会三役会
- 29(木) くらし部会
- 8/13(金) 事務所は休ませていた
- 16(月) だきます